

○：対応済み
△：一部制限ありで動作可能
×：動作検証中 または 未対応
-：非対応

*未定部分は、決定次第お知らせします。
*動作検証中のは、検証完了次第情報更新します。
*注意事項は対応しない場合があります。

製品名	実行バージョン	Windows 10 ~Ver.20H2	Windows 10 Ver.21H1	Windows 10 Ver.21H2	Windows 10 Ver.22H2	Windows 11 Ver.21H2	Windows 11 Ver.22H2	Windows Server 2022	対応予定バージョン	対応期間・備考
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況		
QND Premium	Ver.11.0.7i	△		△	△	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【制限事項】 - 外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません。 - アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません - Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません - ISH連携により収集したAndroidクライアントのホスト名が表示されません 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません (Ver.21H2では配布が行えます) - Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「プランチ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows 11 Ver.21H2以降 【制限事項】 - カスタムインベントリ「HDD 健全性チェック」が取得されません。 - アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません - グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません - ISH連携により収集したAndroidクライアントのホスト名が表示されません 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません - Windows 10/11の更新制御利用時に「プランチ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows Server 2022 【制限事項】 - Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません ■Windows 10 Ver.21H2以降 【制限事項】 - Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとQNDクライアントがインストールできません。
	SPM	Ver.3.9.2i	○	○	○	○	△	○	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降 / Windows Server 2022 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - コンバート実行中にリファレンスPCを利用したポリシー条件の脱税スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります 現象発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いします 「ハイコントラスト」を設定すると、SPMコンソールでグレーアウトとなっている表記が見えなくなる場合があります ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとSPMクライアントとSPMコンソールがインストールできません。
	QPM	Ver.1.2i SPM1.5	○	○	○	○	○	○		■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows Server 2022 / Windows 11 Ver.21H2以降 【注意事項】 Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
	URL Filtering	Ver.5.2.3	○	○	○	○	△	-	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。
	QND ClientLog	Ver.2.6.11.3i (*1)(*2)	○	○	△	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9*2では以下の事象が発生します 260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する ■Windows 11 Ver.21H2 【制限事項】 - Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある - Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイルを印刷する場合、プリンターログが取得されない - Windows11の新機能であるスナップドレイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコンソールでは使用できない - Windows11の新機能であるタスクビュー機能を利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューアでスナップショットが表示されない - QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある ■Windows Server 2022 【制限事項】 - クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される ■Windows 10 Ver.21H2 - QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。 - Power automateを使用して印刷時の印刷ログのドキュメント名の先頭に「*」が付与される。
QND Standard	Ver.11.0.7i	△	△	△	△	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【制限事項】 - アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません - Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません - ISH連携により収集したAndroidクライアントのホスト名が表示されません 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません (Ver.21H2では配布が行えます) - Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「プランチ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows 11 Ver.21H2以降 【制限事項】 - カスタムインベントリ「HDD 健全性チェック」が取得されません。 - アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません - グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません - ISH連携により収集したAndroidクライアントのホスト名が表示されません 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません - Windows 10/11の更新制御利用時に「プランチ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows Server 2022 【制限事項】 - Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません ■Windows 10 Ver.21H2以降 【制限事項】 - Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとQNDクライアントがインストールできません。
	SPM	Ver.3.9.2i	○	○	○	○	△	○	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降 / Windows Server 2022 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - コンバート実行中にリファレンスPCを利用したポリシー条件の脱税スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります 現象発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いします 「ハイコントラスト」を設定すると、SPMコンソールでグレーアウトとなっている表記が見えなくなる場合があります ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとSPMクライアントとSPMコンソールがインストールできません。
	QPM	Ver.1.2i SPM1.5	○	○	○	○	○	○		■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows Server 2022 / Windows 11 Ver.21H2以降 【注意事項】 Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です

製品名	実行バージョン	Windows 10 ～Ver.20H2	Windows 10 Ver.21H1	Windows 10 Ver.21H2	Windows 10 Ver.22H2	Windows 11 Ver.21H2	Windows 11 Ver.22H2	Windows Server 2022	対応予定バージョン	対応時間 / 備考
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況		
QND Advance	Ver.11.0.7i	△	△	△	△	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【制限事項】 - 外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません - アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません - Windows 10 v2004以降では、グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません - ISM連携により収集したAndroidクライアントのホスト名が表示されません 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません (Ver.21H2では配布が行えます) - Windows 10 v1903 (Semi-Annual Channel (Targeted)) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります 「ランチャ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows 11 Ver.21H2以降 【制限事項】 - カスタムインベントリ (HDD 健全性チェック) が取得されません。 - アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません - グループポリシーが設定されていない場合、「Windows 10/11 の更新制御」による設定の変更ができません - ISM連携により収集したAndroidクライアントのホスト名が表示されません 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません - Windows 10/11の更新制御利用時に「ランチャ準備レベル：SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます ■Windows Server 2022 【制限事項】 - Windows Subsystem for Linux 1.0のファイルシステムに対する配布はできません ■Windows 10 Ver.21H2以降 【制限事項】 - Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとQNDクライアントがインストールできません。
	SPM	Ver.3.9.2i	○	○	○	○	△	○	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降 / Windows Server 2022 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - コンバート実行中にリファレンスPCを利用したボリス条件の更新スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります - 現象発生時はタスクマネージャーからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いします 「ハイコントラスト」を設定すると、SPMコンソールでグレーアウトとなっている表記が見えなくなる場合があります ■Windows 11 Ver.22H2 【注意事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとSPMクライアントとSPMコンソールがインストールできません。
	QPM	Ver.1.2i SP15	○	○	○	○	○	○		■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows Server 2022 / Windows 11 Ver.21H2以降 【注意事項】 Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
	License Guard	Ver.5.2	○	○	○	x	○	x	○	
	URL Filtering	Ver.5.2.3	○	○	○	○	○	△	-	■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です - Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制限されません ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。
	QND ClientLog	Ver.2.6.11.3i (*1)(*2)	○	○	△	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します ・260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する ■Windows 11 Ver.21H2 【制限事項】 - Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある - Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイルを印刷する場合、プリンターログが取得されない - Windows11の新機能であるスナップドレイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコンソールでは使用できない - Windows11の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューアでスナップショットが表示されない - QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある ■Windows Server 2022 【制限事項】 - クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される ■Windows 10 Ver.21H2 - QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。 - Power automateを使用して印刷時の印刷ログのドキュメント名の先頭に「*」が付与される。
QND ClientLog	Ver.2.6.11.3i (*1)(*2)	○	○	△	△	△	△	△	未定	■Windows 10 Ver.1903以降 【注意事項】 - Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します ・260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する ■Windows 11 Ver.21H2 【制限事項】 - Power Automate Desktopでファイル操作時に、操作ログが取得できないことがある - Power Automate Desktopの「ドキュメント印刷」でファイルを印刷する場合、プリンターログが取得されない - Windows11の新機能であるスナップドレイアウト機能とスナップ グループ機能が、QCLコンソールでは使用できない - Windows11の新機能であるコントラストテーマを利用している場合、QCLコンソールのスナップショットビューアでスナップショットが表示されない - QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある ■Windows Server 2022 【制限事項】 - クライアント自動バージョンアップ機能にて、Windows Server 2022 が Windows Server 2019として認識される ■Windows 10 Ver.21H2 - QCLクライアントのアンインストールした場合、イベントログにエラーが記録されることがある ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。 - Power automateを使用して印刷時の印刷ログのドキュメント名の先頭に「*」が付与される。

製品名	実行バージョン	Windows 10 ～Ver.20H2	Windows 10 Ver.21H1	Windows 10 Ver.21H2	Windows 10 Ver.22H2	Windows 11 Ver.21H2	Windows 11 Ver.22H2	Windows Server 2022	対応予定バージョン	対応時期・備考
		対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況	対応状況		
ISM CloudOne		○	○	○	○	○	△	○		■Windows 10 Ver.1903以降 【制限事項】 ・Windows 10 v2004以降の場合、ハードウェアイベントリの「Windows Update情報」にある「更新方法」が空欄になる場合があります ・グループポリシー「コンピューターの構成」-「管理用テンプレート」-「Windowsコンポーネント」-「Windows Update」で、「自動更新を無視する」を「有効」にし、「7 - 自動ダウンロード、インストール時に通知、再起動を通知」を選択している場合に本事後を無視 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する対応はできません ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、Windows 10 Update設定利用時に次の注意事項があります a. Windows 10 Update設定で、「更新モデルを指定する」SACT」を選択してもクライアントに反映されません b. ハードウェアイベントリの「Windows 10 更新モデル」が空に「SAC」になります ■Windows 10 Ver.21H2以降 【制限事項】 ・Windows 10更新モデル「General Availability Channel」が「SAC」と取得される ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 ・「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」がオンの環境での動作は非対応です
	外部メディア制御（オプション）	Ver.7.1i	○	○	○	○	△	-		■Ver.1903以降 【注意事項】 ・外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 ・copyコマンドを使用してbitファイルのコピーした際、書き込みログが取得できていません
	操作ログ（オプション）	Ver.7.1i	○	○	○	○	○	○		
	ふるまい検知（オプション）	Ver.3.4.6	○	○	○	X ※	○	○	○	※2022年12月22日よりサポート開始です
	ディスク暗号化（オプション）	82.10.9575	○	x	x	x	x	x	-	未定
	URL Filtering（オプション）	Ver.5.2.3	○	○	○	○	○	△	-	未定 ■Windows 10 Ver.1903以降 / Windows 11 Ver.21H2以降 【制限事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 ・「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。 ・Android 11以降の場合かつ、build06S40以上のバージョンでAndroid版 Safeブラウザを経由した特定アプリの起動ができません。（2023/3/※修正予定） Safeブラウザを経由しない形で該当アプリを開くようお願いします。 例：「Teams」「ドコモあんしんセキュリティ」
	Windows10/11アップデート支援（オプション）	Ver.7.1i	○	○	○	○	○	X	-	
KeyServer	Ver.7.8	○	○	○	x	○	x	○	未定	■Windows 10 Ver.1903以降/ Windows 11 / Windows Server 2022 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・「コントラストテーマ」を使用した場合、UIの表示が異常に見づらくなる場合があります
eX WP	Ver.4.4i SPS	△	△	△	-	△	-	△ ※		■Windows 10 Ver.1903/1909/2004 【制限事項】 ・RP1モード、またはRP2モードの場合、Windows Sandboxは起動しません ■Windows 10 Ver.20H2/21H1/21H2 ・Windows 10 20H2/21H1へのバージョンアップに失敗する場合があります ■Windows 10 Ver.21H2 ・Windows 10のハイコントラストを設定すると、AdminMenuの文字が見えなくなります ■Windows 11 Ver.21H2 ・アクセシビリティコントラストテーマを「夜交」に設定すると、AdminMenuの文字が見えなくなります ※Windows Server 2022はAdmin Menuのみ対応となります
QQR	Ver.1.4	○	x	x	x	x	x	x	未定	■Windows 10 Ver.21H1 動作検証中 ■Windows 10 Ver.21H2 / Windows 11 Ver.21H2/22H2 検証時期調整中 ■Windows Server 2022 検証時期調整中
Quality Gaaiho PDF Suite	Ver.5.5	△	△	△	△	△	△	△		■Windows 10 Ver.1903/1909/2004/2009/20H2/21H1/22H2/Windows 11 Ver.21H2 /Windows Server 2022 ・Windows 10 1903以降、Windows 11、Windows Server 2022においてGaaiho PDF Suite-インストール時、PDFビューアをGaaiho Docに変更しても、設定が変更されません ■Windows 11 Ver.21H2/22H2 ・コントラストテーマを適用した際、一部UIが正しく表示されません ・Office 未インストール環境で、テキストファイルをPDFファイルへ変換できません ■Windows 11 Ver.22H2 【制限事項】 ・「Windowsセキュリティ」で「スマート アプリ コントロール」をオフにする必要があります。オンにするとQNDクライアントがインストールできません。

